



探究発表会リハーサル

来週11日（火）の探究発表会に向けてリハーサルを行いました。

日頃見ていると当たり前になってしましますが、改めて考えると2年生の児童がiPadでスライドを用意して、一人で5分近く発表するのはすごいことです。発表会の中で子どもたちの努力や成長を見ていただけると幸いです。

今回は、私の探究発表会の見どころや思いをお伝えいたします。

子どもたちには発表者・司会者・聞き手の3つの立場でがんばってもらいたいと考えています。

【発表者として】

聞き手を意識して、堂々と発表できるように取り組んできました。1年生のときからずいぶん成長した姿を見せてくれると思います。

この1年間で、本当に自分の思いや考えを発表する力や意欲が高くなりました。

「自分のやってきたことを伝えたい!」「発表するって楽しい!」そんな子どもたちの思いが保護者の皆様に届くことを願っています。

【司会者として】

プロジェクト発表や国語の授業で、司会として持ち時間のとりまわしをできるように取り組んできました。

持ち時間の8分間、先生たちの手伝いなしで発表出来れば大成功です。

感想や質問がない場合に慌てず話を振るなど、臨機応変に対応できる姿を期待しています。もちろん、保護者の皆様の積極的なご参加も大歓迎です。

【聞き手として】

自分の番が終わったら発表会がおしまいではありません。

様々なテーマに興味をもち、質問や感想を伝えようとするれば、きっと今後の探究や学習に繋がっていくでしょう。

子どもたちにもそのように声かけをしているので、ぜひ聞き手としてがんばる姿もご覧ください。



【リハーサルの様子 発表者としても聞き手としても成長しているのを感じます】

探究発表会を終えた子どものどこを認めるか

探究発表会は探究した内容をプレゼンテーションする場ですので、気を付けないと、発表の内容や声の大きさだけに注目してしまいます。

しかし、本番に至るまでに子どもたちには様々な苦労や努力があったはずです。テーマがなかなか決まらなかった子、調べることが難しすぎた子、やろうとしたことに自分の技能が追い付かなかった子など様々です。

それを想像すると、子どもが一番認めてほしいところ、思い入れのあるところを褒めてあげてくださいね。

「悩んでいたけど、ちゃんと自分で見つけたテーマで発表できたね」

「一年間最後まで一つのテーマでやりきってすごいね」

「とてもたくさん調べていたね、2年生であれだけできてびっくりしたよ」

「一人でまとめたり発表したりできてえらいね」

「調べるだけじゃなくて、実際に実験していたのがいいね」

「スライドが工夫されていて分かりやすかったよ」

「みんなの方をみて発表していて、何度も練習してきたのが伝わったよ」

発表会が終わった後、どんな言葉をかけてあげましょう。私も子どもがいるので、今から考えています。

そして、「次はどんなことをテーマにしたい？」と聞いて、次の探究へのワクワク感を高められたらなと思っています。